



本格的にスタートした 国立大学の再編について



教頭 辻 武晴

7月号で「これからの大学進学を考える」と題して、急速に加速している「大学改革」と「高大接続改革」の動向について報告しました。そのなかで、大学改革実行プラン（平成24年6月）や国立大学改革プラン（平成25年11月）の概要を紹介し、国立大学を3タイプに機能分化させる方向であることを説明しました。今回は、その動きが本格的にスタートしたことについて紹介します。

文部科学省の平成28年度予算概算要求を見ると、国立大学への運営交付金のなかに新たに「機能強化の重点支援」という項目が設けられ、大学の機能にに応じて予算枠が示されました。ここで注目されることは、全国86校の国立大学が大学のミッション（使命・役割）に応じて3タイプに分

類されたことが終了したことです。資料によると、以下のようになっています。

（1）「卓越した教育研究」タイプ

卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学

北海道・東北・筑波・千葉・東京・東京農工・東京工業・一橋・金沢・名古屋・京都・大阪・神戸・岡山・広島・九州（以上16大学）

（2）「専門分野の優れた教育研究」タイプ

専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で地域というより世界・全国的な教育を推進する取組を中核とする国立大学

筑波技術・東京医科歯科・東京外国語・東京学芸・東京芸術・東京海洋・お茶の水女子・電気通信・奈良女子・九州工業・鹿屋体育・政策研究大学院・総合研究大学院・北陸先端科学技術大学院・奈良先端科学技術大学院（以上15大学）

（3）「地域貢献」タイプ

地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学

（1）（2）以外の55大学（茨城大学、埼玉大学、宇都宮大学、横浜国立大学など）

この3タイプは、各国立大学の教育や研究の内容を制限するものではありませんが、今後はこの機能分化に沿った大学改革が進展していくものと思われれます。

実際、平成28年度には、千葉大学で「国際教養学部」、宇都宮大学で「地域デザイン科学部」など、機能に沿った学部が新設されます。茨城大学でも「地域創生の知の拠点となる大学、その中で世界的な強み・特色の輝く大学の構築を目標として大学改革を進めています」（茨城大学 Webページ）としています。これからは「地域」が国立大学再編のキーワードになっていきそうです。

今後、各国立大学の学部・学科の再編が加速することは、ほぼ間違いないことと思われます。当然、私立大学も学生確保のために今まで以上に特色を打ち出し、改革を進めていくことは明らかです。

大学理解をしたうえで大学を選択する重要性は7月号でも述べましたが、今後は、国立大学の再編動向や私立大学の改革にも十分注意を払っていただき、進路希望を固めていく必要があります。



(1)

水海道一高は今年創立 116 年。未来を築く青年の育成をめざして日々進歩し続けています。

1 年次

キャリアガイダンスを受講して

現代において、社会でも大きな問題となっている「介護」。この仕事も教師と同じように人と寄り添う仕事であることがわかりました。人生の最後の時まで人と共に生きることのでられることは多いと思います。全



てをしてあげるのではなく、できることはそのままに「支援をする」という形で行う仕事なんだと改めて知りました。高齢者に対する愛情を感じました。(介護施設経営)

何事にもやる気の問題であり、あきらめずに上を目指していけばできる！また、文武両道も、まずはチャレンジしてみることが大切だと思った。女性も社会の中で認められつつある事を知り、将来に希望が持てた。興味がある職業なので、大変貴重なお話が聞けて良かった。(警察官)

薬剤師と一言で言っても、研究を進めたり、企業に入って薬の開発をしたり、理科の先生になったりと様々な仕事に就くことができることがわかった。薬剤師は人の役に立てて、お客様や患者さんとのコミュニケーションを通して、日々のやりがいを感じられる仕事であると知って、薬剤師になりたいと思った。(薬剤師)

今が全て未来につながっていると実感させられた。講師の方自身が自分の仕事に誇りと責任を持って働いているのがとても伝わり、私も自分の仕事にやり甲斐を感じられるような大人になりたいと感じた。(旅行業)

市役所でよく見る課はほんの一部で、それ以外にもたくさん課があり、その中でもさらに細かく係が分かれていると聞き、非常に多くの仕事があって、大勢の人が働いていることを知った。いくつか興味がわいた課があったので、公務員の仕事について詳しく調べてみようと思う。この町、この市が好きという気持ちが大切であることがよく分かった。(公務員)

研究者はどのように仕事をしていて、どんな研究をしているのか想像もつかなかったが、今回の講義で垣間見ることができた。自分の身近にある問題について調べてみると面白いと思った。また、何かについて研究するという事は、人のためにも将来のためにもなる。地道に研究しているからこそ、新たな発見があり、仕事のやりがいを感じられるのだと思った。(研究者)

このような仕事があることを知らなかったので、先生のお話はとても新鮮でした。また、まだやりたいことが決まっていなくて当たり前、という言葉に励まされました。いろいろな大学や職業のことをよく調べ、自分にとってよりよい将来になるように努力していきたいと思いました。今まで不安になることも多かったのですが、前向きに頑張りたいです。(広告)

陸上部の活躍

第 19 回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会

期 日 平成 27 年 10 月 24 日 (土) ~ 25 日 (日)
会 場 正田醤油スタジアム群馬

参加者及び結果

石塚 大輝さん (2-3) 5000 メートル競歩 第 6 位入賞
畑 知博さん (2-5) 円盤技 第 8 位入賞



1 年次

1 年を振り返って



1 の 1 須賀楓斗さん (サッカー部、御所ヶ丘中出身)
 高校に入学して 1 番大変だと思ったのは、部活動と学習の両立です。中学時代は帰宅時間が早く、自分の時間が多くありました。一方高校では、帰宅時間が遅く疲れもたまり、帰宅後の勉強も集中することが難しいのです。これを解決するよい方法が、講演会で聞いた「学習スタート時間の固定化」です。勉強をはじめる時間を固定すれば、それが習慣となり、より集中して学習できるのではないのでしょうか。また、日々の学習で「今日の目標」を立て、より効果的な学習をしようと思います。目標を立てることは、意識を高めることになるからです。



1 の 2 和賀悠人さん (テニス部、水海道西中出身)
 高校生になってからいろいろなことがありました。特に印象に残っているのは、亀陵祭と定期戦です。クラス企画で僕のクラスは縁日をやりましたが、文化祭が終わる頃にはクラスのチームワークが強くなったように思います。定期戦では、応援しているだけで自分が試合をしていると思うぐらい気分が高まりました。楽しいことがいろいろあって、遊びすぎた部分もありますが、勉強もしっかりやって、これからも楽しみながら生活していきたいです。



1 の 3 逆井美夕さん (ハンドボール部、坂東南中出身)
 入学して 8 ヶ月が過ぎました。今では入学当初の緊張と不安はなくなり、忙しくも楽しい日々を送っています。けれども、入学前の「部活動も勉強も両方頑張る」という気持ちが薄れてきているように感じます。部活動は入学前からハンドボール部に入部すると決めていたので、「うまくなりたい」という思いで努力しています。一方勉強の方は、あまりうまくいっていません。課題や考査、模試に追われ、何とかこなしている状況なので余裕がありません。勉強も頑張らなくてはという思いはあるのですが、自分に甘くなってしまいます。友人たちと楽しい高校生活を送りつつ、初心を忘れず緊張感を持って部活動や勉強に取り組んでいきたいと思っています。



1 の 4 張替里菜さん (バドミントン部、伊奈中出身)
 入学してから今までを振り返ると、とてもあつという間でした。部活動と勉強の両立ができず、なかなか生活のリズムをつくることができませんでした。これからは自宅学習の時間を確保し、自分に合った学習計画を立てていきたいと思っています。そして、明確な目標を設定し、それを達成できるようにしたいです。二年生になったら、文武両道できるように頑張りたいです。

1 の 5 小山美音さん (演劇部、守谷中出身)
 8 ヶ月を過ごしてきた間にたくさんのことを学ぶことができました。演劇部員として活動した私はたくさんのことを学びました。仲間の大切さ、集団で行動することの大切さ……。また時間厳守などの当たり前やるべきことも再確認もでき、またそれを行動に移すこともできました。けれども、勉強面では、数学の苦手分野である二次関数を分からないままにしまったので、これからしっかり理解していこうと思います。中途半端に終わってしまったものもあれば、理解せずに終えてしまったものもあります。それを自分のものにしていきたいです。高校生である時にできることをしっかりやっていきたいです。



1 の 6 岡本玲菜さん (剣道部、けやき台中出身)
 高校に入学して、高校生活とはあつという間に過ぎるものだと感じています。勉強は中学校の時よりずっと難しくなり、部活動もハードになっています。「文武両道」を常に目標にしていますが、その大変さは中学生の頃に想像していたのを遙かに超えるものでした。自分の未熟さを痛感し、悔しい思いをすることもたくさんあったのですが、今ではそれらが弱い自分に打ち勝つ力になったと感じています。これからは、自分に負けずに努力していくつもりです。



1 の 7 本多梨玖さん (陸上部マネ、石下西中出身)
 入学してもう 1 年が経とうとしています。入学式での緊張感が嘘のように毎日楽しく、充実した日々を送っています。中学校とは異なった環境には最初不安もありましたが、温かい素敵な友人や先生、先輩方に会うことができました。また、勉強と部活動を両立することで、忙しく感じることも多いのですが、そこから学ぶものもたくさんあり、今まで以上に一生懸命何事にも取り組むようになりました。私はまだ将来の夢や進路の希望が明確ではありません。けれどもこの水海道一高でたくさんを経験し、悔いのないよう進路を決めたいです。



関口会長、中荻さん、福田さん

は支えられています。 (宮本)

済美同窓会 より
同窓会からの寄付—卒業生の思い
 本校は明治 33 年、1900 年の開校から 115 年を迎えています。同窓会は明治 38 年 3 月卒業生をもって済美第 1 回としています。今年の平成 27 年 3 月卒業生は済美第 113 回、第 67 回卒 (定時制は第 64 回) になります。(昭和 22 年の新学制発足に伴い、高校全日制は昭和 24 年 3 月卒業生を第 1 回卒とします。)
 さて、同窓会の先輩方は一様に後輩である在校生のことを気にかけて下さいます。
 9 月 5 日 (日) 済美水海道支部総会で『三九会』(17 回卒三九会ゴルフ同好会) からゴルフコンペの 50 回を記念して五万円の寄付を受けました。『三九会』を代表して中荻道夫氏、福田克比古氏から「母校のために」と手渡されました。
 又、9 月 30 日 (水) には五回卒同窓会の代表として高橋武男氏、安藤睦子氏、長和子氏が来校し、母校を心配して下さい「いくら何でも母校の生徒さん達の助けになれば」と 10 万円の寄付を頂きました。
 毎年、常陽亀陵会や同窓会親睦ゴルフでのチャリティー金の寄付を頂き図書や部活動の補助金として生徒の皆さんの活動の支えの一端になっています。目に見えない力に皆さん

1 年次

大学見学会

見学コース

- 1 組…電気通信大学・慶応義塾大学
- 2 組…東京学芸大学・中央大学
- 3 組…東京大学・東京理科大学
- 4 組…東京海洋大学(工)・上智大学
- 5 組…東京海洋大学(科)・明治大学
- 6 組…東京大学・早稲田大学
- 7 組…東京工業大学・青山学院大学

見学レポートより

- ・赤門がイメージよりもずっしりとした雰囲気がありました。また、赤門をくぐると、銀杏の香りとともにイチョウ並木が見えて、とてもきれいでした。
- ・正門からの道は、ドラマ「HERO」に出てくるような道で、そこを並んで歩いてくる東大生はとてまかつこよかった。大学生への憧れが強くなった。



特活部より

生徒会長 染谷紗矢(2-2)



この度、生徒会長を務めることになりました染谷紗矢です。水海道一高の生徒代表であるという自覚を忘れず、生徒会活動を盛り上げるため努力していきます。

活動していくにあたり、私が目標とするものは「継往開来」です。これは本校の愛称「済美」と同様の意味を持ち、先輩方が築いた伝統を引き継ぎ、ますます発展させていくことを意味します。多くの伝統的な行事のある本校。特に来年度は定期戦が本校開催となります。新たに設立する予定の実行委員と協力し合いながら、最善の結果を残すため邁進していきたいと思っております。

本校の更なる発展に向け、役員一丸となって取り組みますので、よろしくお願いいたします。

生徒指導部より

○ケータイ・スマホ家庭のルール守れていますか？

10月に家庭のルールを提出していただきました。現在のお子さんの使用状況はいかがですか？もちろん利用に関してはお子さんの自覚が必要で、睡眠時間や学校生活に影響が出て痛い思いをするのは本人です。さらにLINE上でのいじめ、ネット依存、SNSへの不適切な投稿など深刻なケースも多く聞かれます。せつかくのスマホルールですので、深刻な状況が生まれる前に再度確認していただければと思います。

○遅刻減少の取り組み

遅刻減少に向け、8:30までの登校を指導しています。ご家庭でのご理解、ご協力をお願いいたします。幸い遅刻者の数は月別で前年を下回ることが多くなっています。これからますます寒くなっていきます。生徒全員の自覚とご家庭のご協力で寒さに負けず、遅刻を減らしていきましょう。

平成27年が終わろうとしている。授業で、「1年が過ぎるのってあっという間よね。皆が入学したのが昨日のこのようなのに」と言ったら、そんなわけないよ！という顔をされてしまった。本当に月日が経つのはあっという間だ。私ごとだが、先日ささやかな七五三のお祝いをした。息子が生まれたのは震災の1週間後である。

別に今年でなくてもよかったのだが、やっておいた方がよいだろうというのをほかにいくつか片付けた。それで気が抜けたのか、久しぶりに風邪をひいてしまった。でも、まだ大掃除が残っているの、もう少し頑張らなくては。皆様よいお年を。

編集後記

行事予定(1月)

- 5日(火) 冬休み学習会(2年次、～/7)
- 7日(木) 冬季休業終
- 8日(金) センター直前模試(3年次)
- センター直前模試(3年次)
- 到達度テスト②(1・2年次)
- 進路希望調査③(1・2年次)
- 12日(火) 月曜日授業
- 15日(金) ①②③+K
- センター試験説明会④(3年次)
- 16日(土) センター試験第1日目
- 土曜課外⑨(1・2年次)
- 17日(日) センター試験第2日目
- 18日(月) センター試験自己採点(3年次)
- 19日(火) 特編授業Ⅱ(3年次、～/29)
- センターチャレンジテスト(1・2年次)
- 20日(水) 面談週間Ⅴ(～/29)
- 23日(土) 保護者面談(3年次～/24日)
- 進研総合模試(1・2年次)
- 25日(月) K+④⑤⑥
- 26日(火) 小論文リライトガイダンス(1・2年次)
- 28日(木) 小論文リライト(1・2年次)

東京学芸大学のキャンパス